

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	120300	TEL	2998-9242
事業コード	子ども会育成会連絡協議会補助金	担当部課	教育委員会教育総務部 社会教育課			
120303		グループ	社会教育推進担当			
補助開始年度	昭和 51 年度	→	終了予定年度	平成 年度		

根拠法令	社会教育法、所沢市社会教育関係団体補助金交付要綱					
分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画、次世代育成支援行動計画					
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	施策	3節 青少年育成	中柱	1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成
					小柱	(2) 青少年育成団体等への支援
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	事務事業見直しの推進		コード	市民の知りたい情報の提供		コード
3261			1111			
補助開始の背景	昭和48年度から子ども会育成事業が始まり、育成会相互の連携協調を図り広域的な事業を行う機関の必要性から、昭和51年に「所沢市少年団体育成事業連絡協議会」が設立され、昭和59年から「所沢市子ども会育成会連絡協議会」と名称変更。青少年の健全育成を目指す連絡協議会に対し補助金を交付する。					
補助の目的	地域子ども会活動の健全な育成を図るためには、各校区子ども会育成会の相互の提携・情報交換・研修、及び全市的な広域事業が必要であり、こうした連絡協調を図る社会教育団体に対する財政的支援を行う。					団体への加盟数
団体における実施事業の概要	・5年生インリーター研修会 ・6年生インリーター研修会 ・ジュニアリーター養成講座 ・広報誌発行 ・広報誌研修会 ・安全対策講習会 ・「彩の国21世紀郷土かるた」所沢大会 ・所子連代表者会(年4回) など					24
						単位
						校区

③ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		190	190	190	
	補助額決算 (見込み含む)		190	190		
	臨時職員賃金		人	人		
	正規職員人件費		0.11 人	1,012	0.13 人	1,221
	事業費合計		1,202	1,411		
	市民一人当たり(単位:円)		3.6	4.2		

④ 指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標		
	団体活動実績	事業数	年間延べ実施回数	回	43	42	42	50	
	成果分析	全市的な事業の参加者数	総会資料より	人	目標値	5000	5000	5000	5000
				%	実績	3977	3831		
				達成率	79.5	76.6			

⑤ 一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input checked="" type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	教育基本法、社会教育法に規定されている地方公共団体の責務である社会教育の奨励、事業の実施などを、社会教育団体を支援することで効果を得ようとするものであ	達成水準	補助団体の活動実績の向上、参加者の増加等を目指す	時期	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	子ども会育成会活動は、地域の人々が子どもの育成に携わることを主眼として活動しており、各校区育成会相互の連携協調、育成者の研修などの全市的広域事業等を実施する育成会連絡協議会は、子ども会活動を推進する大きな役割とともに、地域教育力再生の役割を担っている。こうした社会教育活動の必要性は今後増大するので、必要な支援を継続する。						
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫				

⑥ 二次評価	次年度見込まれる貢献度	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価日	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑦ 個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	有り	計画コード	1121
	基本目標	1 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
主要課題	1 子どもたちの知識・能力の育成				
施策の方向	2 社会性と生きる知恵の修得				